

馬柵越しに麦食む駒の罵らゆれど猶し恋しく思ひかねつも

○西本願寺本万葉集模写

此二字  
可動 柵越 余麦 咋駒 乃雖 言猶 慮久 思不 勝焉

【語釈】

\*馬柵：原文には、この二字、木偏に「巨」「若」とあり、古訓にカキあるいはマセと読まれてきた。右の西本願寺本でもカキ、マセと両側にあり、頭注に「此二字可動」（この二字は考える必要がある）とある。カキは垣の意で柵のこと、またマセも籬（低い垣根）のこと。ここは馬小屋の柵のことと思われ、卷十四に「宇麻勢胡之牟伎波武古麻能」（3537 異伝）とあり、また卷四に「赤駒之越馬柵乃」（530）という表記があることから、鹿持雅澄の説（古義）に従ってウマセと読む。

\*罵らゆれど：「罵る」は、憎んで、しかりつける意。「ののしる」も、もと同意。

\*猶し：それでもやっぱり。「し」は強調。

\*思ひかねつも：原文「思不勝焉」とあり、思いに堪えることができない意。思ひ切ることができないこと。「も」は詠嘆。

【総釈】

全体の歌の意味について、語釈で引用した古義は、「母などに罵りいさめらるれども、なほ一トすぢに、君が恋しくおもはるゝに、堪がたきことよ、と女のよめるなるべし」と説明するとおりである。前半「馬柵越しに麦食む駒の」は比喻で、次に「如く（ように）」が省略されている。馬小屋とは限らないが、馬が柵越しに首を長くして麦（青麦か、あるいは干してある麦）を喰おうとする、それを見て叱りつけると、一端は首を引っ込めるけれども、目を離れたすきにまた首を出して麦を喰おうとする。農村の風景が目につかぶようで、こうした馬の様子には万葉びとにとつて身近な情景だったのであろう。

こんな情景を歌に詠むことは誰も思いつかなかつたが、あるとき誰かが歌に詠み込んだ。見慣れた情景が歌に詠まれたとき、それを聞いた人々はいたく同感し喝采したに違いない。そしてその表現はながく記憶に残り、口ずさまれたものと思われる。またこうした馬の様子を比喻として、さらに、巧みに娘心をうたつたのが右の歌でもある。叱られても叱られても諦めきれない——それは右の古義がいうとおり、母になんど叱られても諦めきれない娘の恋心を表わしている。

前半の比喩表現については、巻十四の東歌に次のような類句がある。

3537 くへ越しに麦食む小馬のはつはつに相見し子らしあやに愛しも

\* 「くへ」は、クネとも言い、垣のこと。

\* 「駒」が「小馬」となっていて、下の「子」と音の呼応関係がある。

麦食むこうまの (二句目)

相見しこらし (四句目)

「子ら」は若い娘のこと。「ら」は複数形では無く、婉曲な意を含む接尾語。

\* はつはつに…他の歌に「小端」「端々」などとも書かれていることから

わずかに、ほんの少しの意。ただし、小馬といい、やつのことと娘と

親しくなったということから、「はつ」には「初」の意味も感じられる。

\* 相見し…次の異伝の「新肌触れし」に同じ。

ここには「馬柵」に当たる語が万葉仮名で「久敵」と書かれているが、異伝の或本歌には、

宇麻勢越し麦食む駒のはつはつに新肌触れし子ろし愛しも (3537 或本歌)

とあって「宇麻勢」(馬柵)となつている。「くへ」は垣を一般的に言った言葉で馬柵と同語ではない。東歌のものと語句だったのだろう。異伝の「宇麻勢越し麦食む駒の」は、巻十二の 3096 番歌の歌い出しにもなつていることから人々に愛唱された表現であったらしい。異伝では「駒」となつていて、あるいは東歌のものと表現が奈良の都の人々の間では「駒」に換えられたものかも知れない。この句を前半に置いて、次に、

…：罵らゆれど

と続けたのが 3096 番。また、

…：はつはつに

と続けたのが右の東歌の異伝である。

### ▽稲と麦

馬を詠んだこのような表現が生まれたのは東国においてであつたらうか。奈良時代より後には、馬の飼育が東国で盛んになってゆくことから、何となくそのようにも思われるが、馬の飼育は渡来人によって河内あたりから始まつていて、このような表現が必ずしも東歌から学んだものと決めるわけにはゆかない。しかし、西日本を中心とする万葉集の歌のなかに稲は詠まれるが、麦を詠んだ歌は右の東歌と、さらに同じく馬を詠んだ 3096 番の歌だけである。稲作は九州から始まつたもので、東国ではとりわけ水稲耕作は西よりも後れて広まつたと推測されるから、東歌の地方、すなわち甲斐(山梨)・信濃(長野)・武蔵・上毛野(群馬)などは畑作が多かつたと思われる。麦は畑作物である。馬と麦の取り合わせは、どうも東国がふさわしく思われる。そんなことから、「馬柵越しに麦食む駒」といった表現は東歌に由来しているのではないだろうか。しかも東歌では東国語のままに「くへ」とあつたのを、奈良の人々が自分たちに分かり易いように「うませ」と変えたのではないだろうか。